



四日市の安全・安心は消防が守る

四日市市消防本部は現在、消防本部1カ所・消防署3カ所・分署6カ所・出張所2カ所で構成され、375人の職員が日々、消火・救急・救助活動のほか、訓練や市民への火災予防の普及啓発を重ね、いざというときのために備えています。

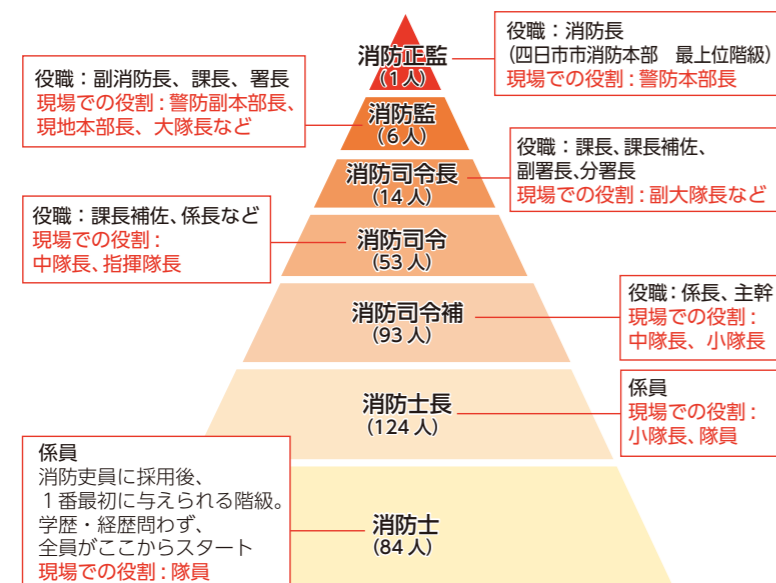
今回は、災害現場で活躍する消防士・救急救命士の声や、意外と存在を知られていない消防士の階級、消防士の一日を紹介します。

消防士に与えられる七つの階級

消防組織にも、警察や自衛官と同じように階級制度があることを知っていますか。

四日市市消防本部では、消防吏員*として採用されると、まずは「消防士」としてスタートし、下図のように一つずつ階級がステップアップしていきます。

*消防本部に勤務する職員のうち、階級を有する人



近年、火災や地震、集中豪雨など多様化・大規模化する災害が増加し、消防には常に新たな対応が求められています。これらに迅速・的確に対応するため、消防・救急体制の充実・強化を図り、市民の皆さんが安全で、安心して暮らせるよう職務に取り組んでいます。



消防本部消防長 (消防正監) 人見実男

令和4年4月1日現在



ポンベやロープなど約30kgを背負って走ります

防火服

消防隊や指揮隊が着用します。消防隊は防火服・空気呼吸器・消火ホースなどを使用して、炎上している建物に挑みます。そして、迅速な消火活動により、被害を最小限に抑えます。指揮隊は災害現場の指揮を執るとともに、災害現場の安全管理もしています。また、今後の火災予防に役立てるために、火災の原因や損害を調査します。



清潔感のあるグレーが特徴です

救急服

救急隊が着用します。救急隊は傷病者の症状から必要な救急処置をしながら、傷病者の症状に応じた医療機関へ搬送します。また、救急隊員の中には国家資格である救急救命士免許を有した救急隊員もいて、高度な救急処置を実施できる体制を確保しています。



服装から見る消防の仕事

消防士は、それぞれの仕事がしやすいように工夫された服を着て仕事をしています。ここでは、消防士が仕事に着ているさまざまな服をご紹介します。



状況に応じた資機材 (油圧カッターなど) を使うので常に身軽です

救助服

救助隊が着用します。現場でどこからでも目立つオレンジ色が特徴です。救助隊は人命救助のプロフェッショナルで、火事や交通事故などさまざまな災害で、逃げ遅れた人を助けに行きます。救助隊は交通救助、震災救助などあらゆる災害対応をするため、日々厳しい訓練をしていて、救助資機材を積載した救助工作車で活動します。



制服

消防本部内の総務・予防業務などをする部署の日勤職員が着用します。その他、出初式や表彰などの式典、規律訓練の際も制服を着用します。

【火災予防】

飲食店や工場などの検査も定期的に行い、火災予防の指導をしています。また、全国で大きな火災が発生すると、再発防止のため一斉に立入検査をします。



NEXT PAGE ▶ 次のページでは、消防職員のある1日を追いました。

平常心で臨む迅速な救助



中消防署 消防士 7年目 宮園将輝



火災や交通事故などの現場に出動する際は、助けを求め人を少しでも早く助けたいという気持ちで現場に向かっています。しかし、火災や救助を必要とする現場では、消防士が一番危険なところで活動するため、やはり恐怖心を抱くこともあります。

出動中や災害現場で活動する時は、自分の焦りや前のめりになることで視野が狭くなることがあるため、普段の自分でいられるように気持ちをコントロールして臨むことがとても重要だと感じています。

過去の経験からも助けを求め人の気持ちは痛いほど分かります。どんな場面でも確実に迅速に、救助が必要な人を助けることのできる消防士でありたいと思います。

原動力は「絶対に助ける」その思い



中消防署 消防司令補 救急救命士 15年目 羽場好希

体を動かすことが好きで、人を助ける姿が格好いいと思って消防士になりました。救急救命士の資格を持つ私は、傷病者の病態を見極め、いち早く適切な病院へ運び判断をするために、他の隊員よりも多くの医療知識を持たなければなりません。

消防士1年目の時に、心肺停止状態の傷病者が、自分の目の前で亡くなり悔しい思いをしました。「自分にもっと知識や技術があれば」という、その時の気持ちが、救急救命士を志す大きなきっかけになり、今も救命活動の原動力になっています。

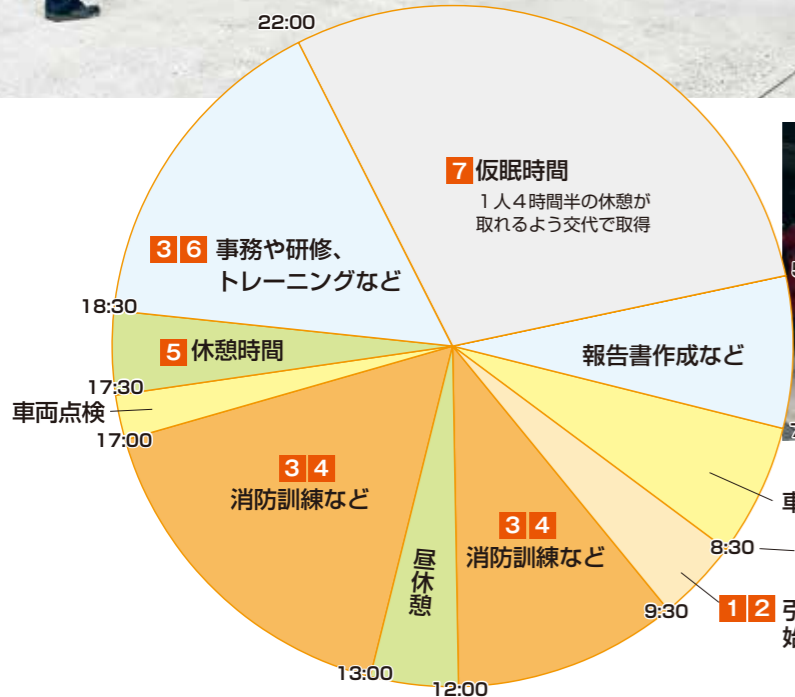
出動が続き食事がとれないこともあります。危険な状態で搬送した傷病者が、その後社会復帰した話を聞くと心からうれしくなります。

これからも急病などで苦しむ人の元へ、少しでも早く助けに行き、大切な命を守ってまいります。

四日市市中消防署 密着 24時 消防士の毎日



出動要請があれば、
どんなときでも直ちに
駆け付けます



- 1 引き継ぎ後、整列・点呼をして当直の24時間が始まります
- 2 出動に欠かせない車両の点検は毎日しっかりと
- 3 報告書の作成など、デスクワークもします。取材日は業務中に救助要請が入り、驚くほどの速さで現場に向かっています

- 4 消防、救助、救急、さまざまな場所や状況を想定し、日々訓練をしています。時には水難救助の訓練もしています
- 5 6 体が資本の隊員を支えるのは、食事と筋トレ。土・日曜日の当直では人数分の食事を作ることもあります。この日のメニューは、豚肉6kgを使用した「四日市消防とんてき」
- 7 深夜帯に4時間30分の仮眠が取得できるように交替で勤務します。いつでも出動できるように隊服のまま仮眠を取ります





New 四日市市南消防署

本市南部エリアの消防の拠点である四日市市南消防署は、昭和49年に建設された前庁舎の老朽化に伴い新庁舎を建設しました。四日市市南消防署は、津波発生時の避難ビルとしての役割やフェーズフリー*の観点を取り入れ、消防活動拠点の機能強化を図っていきます。

*日常(通常時)使用するものなどを、非常(災害)時にも役立つ概念



- ①【食堂】
災害時などは作戦室として使用します
- ②【屋上】
津波などの水害が起きた際に住民が避難するスペースになります
- ③【訓練室】
2階建ての空間を生かした訓練をします
- ④【特別化学隊】
化学事故などの災害で活躍します
- ⑤【女子休憩室】
女性隊員専用の休憩室です。浴室、トイレ、寝室が一つの部屋に収まっています

女子休憩室



南消防署長(消防監) 今尾清

新しい施設で気持ちも新たに、皆さんの安全・安心を守るため、日々の業務や訓練に取り組んでいます。訓練中の隊員を見掛けたら、ぜひ応援してあげてください。

四日市市消防本部
公式キャラクター
ラブ



119番映像通報システム

119番通報したときに、スマートフォンを活用し災害現場の状況や傷病者の状態などを映像で消防指令センターに伝えることで、適切な消防救助活動につなげられます。

現場

消防

使い方

- ① 現場の映像を送ってください
119番通報時に、必要に応じて指令員が依頼
- ② 通報者のスマホへ映像通報のURLをSMSで送信
- ③ メッセージを開いてURLをタップ
- ④ 指令員の指示に従って撮影をお願いします

※映像送信にかかる通信料は、通報者の負担となります ※安全な場所で撮影してください

消防団

それぞれの職業を持つかわら、「自らの地域は自らが守る」*という郷土愛護の精神に基づいて、地域住民を守るために昼夜を問わず消防活動にあたっています。

※江戸時代の町火消、明治時代の消防組以来の伝統であり、この基本精神は現代においても変わることはありません

消防団員を募集しています

興味がある人は、
消防救急課地域安全係へ
ご連絡ください。

☎ 356-2005



四日市市消防団
マスコットキャラクター
ユーリー

こんな活動をしています



四日市市消防団 操法競技大会

防火・防災啓発活動

一斉放水(出初式)

はしご登り(出初式)

公式キャラクター「ラブ」LINE スタンプ販売中

消防本部の公式キャラクター「ラブ」をモチーフに、日常的なコミュニケーションツールとして使用できるデザインのスタンプを配信しています。

全40種類



購入はこちら

●この記事についてのお問い合わせ・ご意見は 消防本部消防救急課 ☎356-2004 FAX356-2016